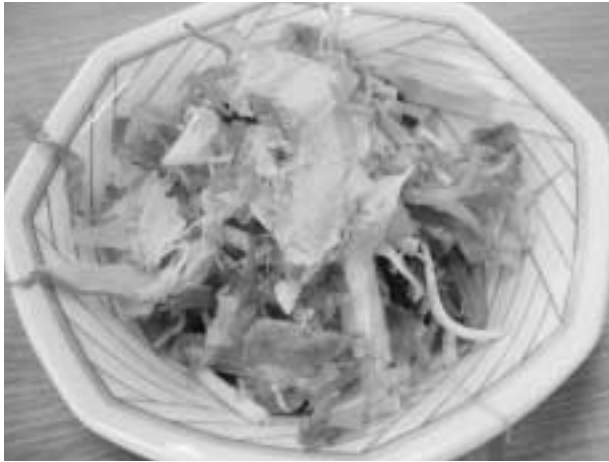


じっくり心をこめて スロー フード 86



小松菜の変わりお浸し

簡単でもう一品ほしいときにすぐできます。
チーズとかつお節も塩味があるので、しょうゆ
をそんなに入れなくてもよいです。

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

材 料 (4人分)

- ・小松菜 160g ・もやし 40g
- ・さけるチーズ 40g ・花かつお 4g
- ・しょうゆ 大さじ1弱 ・七味唐辛子 少々

作り方

- ① 小松菜は塩ゆでにして冷水にさらし、水気をよくしぼって3cm長さに切る。もやしも茹でて水気をしぼる。
- ② さけるチーズは細く割いて3等分に切る。
- ③ ボウルに①②を入れ、花かつお、しょうゆ、七味唐辛子で和える。

せきかわ文芸

短歌

住み馴れし家も流され被災者の
転校せざる子等に涙す

須貝 恵美
(高田)

威勢よくグレーチングの隙間より
迷いも知らぬ春の水音

小池 啓子
(下関)

幼き日ブランコかけし老木に
今朝もたしかにうぐいすの鳴く

斎藤 花枝
(長岡市)

行ける口もちたる君ののみどより
甘露かんろの声きこえる

渡辺千恵子
(上関)

閉校は哀しきものぞ校庭に
生徒は見えず櫻が咲けり

佐藤 庄七
(愛広苑)

関川俳句の会作品

跡かたもなき被災地に春の雪

渋谷 くに

涙して津波の話春炬燵

渋谷 くに

大学生送り送られ故郷を

渋谷 くに

新人生守りつつ行く登校時

南 セツ

被災の地暖かかれと予報見る

南 セツ

■団体紹介

国際協力・環境保護・福祉活動・災害救援等、社会のために自分の持っているパワーと感性を活かしたい。そんな学生をサポートするのがIVUSA（イビューサ）で、1993年に設立されました。

IVUSAは、国際ボランティア学生協会（International Volunteer University Student Association）の頭文字I・V・U・S・Aを抜き出したものです。



国際ボランティア学生協会
IVUSA 通信

今月号から、新コーナー「国際ボランティア学生協会IVUSA通信」を設けました。

ここでは、IVUSAの活動内容、学生の声、村民へのメッセージなどについて紹介します。

■関川村とIVUSA

関川村とIVUSAのつながりは、二〇〇四年、関川村出身の学生が抱いた「自分の故郷に貢献したい、故郷を盛り上げたい」という想いがきっかけとなり、スタートしました。村の大イベントである「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」や「おおいしどもんこ祭り」に参加させていただいています。

■最近の活動

三月十一日に起きた東日本大震災の救援活動を、東北地方を中心に行っています。同時並行で新入生の勧誘も行っています。



▲被災地でのヘドロの掻き出し作業

IVUSA学生の声



篠塚 悠里
(聖心女子大学4年)

Q 関川村での活動に参加したきっかけは？

A 初めて参加した当時は地域活性化について考えたい！という思いよりも、たくさんの方と関わり新しい世界をもっと知りたいたいと思っていました。

Q 参加前と参加後で変わった事は？

A 村はとても元気で笑顔に溢れていて、自分の中の「田舎」のイメージが変わりました。あと、お酒が強くなりました。

Q 今後関川村とどう関わっていくか？

A 関川がより笑顔ある村になるように、IVUSA以外の方にも関川の魅力を伝えていけるように活動していきたいです。

せきかわ文芸

冬囲い取れば植木の背伸びする

南 セツ

日脚伸ぶ窓に入る日も春の色

渡辺しづい

足跡も共に消えけり春の雪

渡辺しづい

春寒や電灯暗き古本屋

青木 慶一

一両の電車に春の音響く

青木 慶一

れんこんの絵手紙くれる友もあり

斎藤 花枝

せきかわ川柳会作品「埋める」「鮮やか」

言いわけがとても鮮やか生き上手

渡辺しづい

衣替えして鮮やかな花言葉

渡辺しづい

一人居の淋しさ埋める雛の顔

南 セツ

その一手負けたと孫に頭下げ

南 セツ

急の客残り集めて祖母のうで

平田 千恵

鮮やかな大輪のよう娘の挙式

平田 千恵

藍染の模様見事な技術持ち

本間 イミ

親心デイトする娘にアドバイス

本間 イミ